

成長している大谷口中生



校長 小林 正樹

夏至を迎え、昼の時間が長くなりましたが、梅雨時で天気のすぐれない日もみられます。保護者・地域の皆様におかれましては、この1学期、本校の教育活動にご理解・ご支援をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

先月開催されたさいたま市学校総合体育大会では、最後まで全力を尽くして試合に臨んでいる生徒たちの姿が印象的でした。特に3年生にとっては中学校生活最後の公式戦ということもあり、悔いのない試合をしようとする強い思いがプレーの随所に見られました。また、選手と応援している部員のすべてが思いをひとつにして、必死に戦っている姿は感動的でした。その中で多くの生徒たちが団体・個人で県大会への出場権を得たことも大変素晴らしいことです。県大会でも存分に力を発揮できるよう練習に打ち込んでほしいと願っています。一方、今回の大会で引退する3年生は、気持ちを入れ替え、規律ある落ち着いた生活を心掛け、進路選択という新たな目標に向かって、自分に甘えることなく高い志をもって学習に取り組んでほしいと期待しています。

さて、1年生の1学期は何をするにも初めてのことが多く、緊張していた時期だったと思いますが、今は各教科の授業の進め方や委員会や係活動、部活動などの様子も分かり学校生活に慣れ少しずつ成長することができました。中学校の全体的な様子が分かったところでその中身を充実させることが大切です。初めての期末テストで悔しい思いをした人もいますが、授業で学んだことをさらに理解を深めるために、自分なりの学習スタイルを身につけることが重要です。また生活面においても自分の役割を果たすことのみならず何事にも一生懸命に取り組むことが経験となり、自分の魅力を高めることにつながります。

2年生は自治の力を身につけることを大切に成長しています。特に、生徒会や委員会活動、部活動では世代交代があり、中心的な役割を果たしています。今後もさらに、先生や先輩が何かしてくれるのを待つのではなく、自分自身がクラスや学年、学校のために何ができるか、自分たちの力で学校生活をより良いものにしていくという意識をもってほしいと期待します。また、受験までは少し余裕がある2年生のうちに、ぜひ、自分を見つめ、社会を見つめ、どのように生きていくかを考えてほしいです。

3年生にとっては、中学校生活の集大成であり、学校行事などでリーダーシップを発揮し後輩たちに示すことができ、大きく成長した学期でした。今後、進路を決める重要な時期でもありますので、しっかりと自分の目標を見定め、限られた時間を有効に使い、悔いが残らないように、何事にも全力で取り組んでください。誰もが経験することとはいえ、進路決定は大変なことです。一人で勉強をしていると、不安やあせりが生まれ、大きなプレッシャーがかかると思います。ぜひ、みんなで支え合い、励まし合ってほしいです。

ご家庭におかれましても、夏休みがお子さんにとって有意義な期間となるようお子さんを認め、ほめていただきながら、家族のコミュニケーションを深めていけるようお願いいたします。

最後に、保護者・地域の皆様には、引く続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。